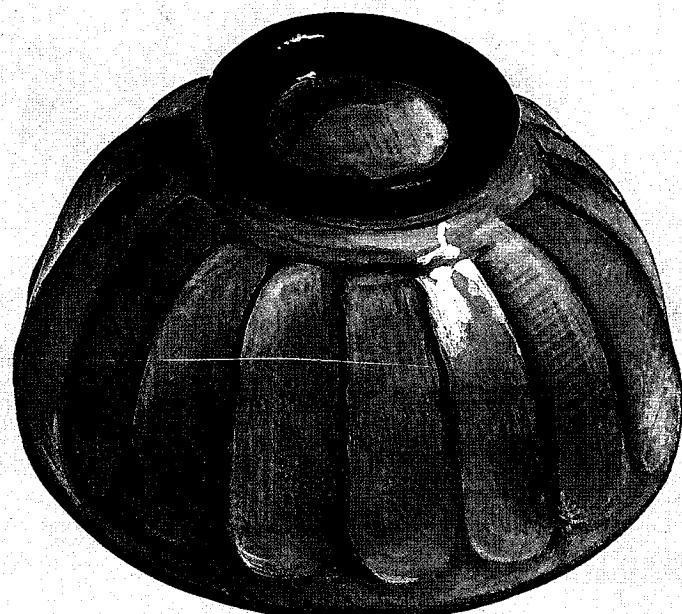


矢薬經濟

JOURNAL OF PHARMACEUTICAL BUSINESS

平成23年4月15日発行(毎月1、15日発行)
昭和38年9月2日第三種郵便物認可
通巻1394号

2011
4月15日号





京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻教授
荒井秀典

84年3月京都大学医学部卒業、91年3月医学博士学位取得、91年4月より京都大学医学部老年科医員、91年8月同助手、93年7月より97年3月までカリヨンオルニア大学サンフランシスコ留学、97年4月より京都大学医学部老年内科助手、03年7月より同大学大学院医学研究科加齢医学講師、09年4月同大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻教授となり、現在に至る。

警鐘を鳴らしたほうがいい

—各社が口腔内崩壊(OD)錠を開発に凌ぎを削っています。

荒井 OD錠は、唾液で溶けて飲み込みやすいという利便性がある。服用時には水を飲まなくてよいため、透析中の患者など水分が摂れない方には非常にメリットがある。現場からニーズも高いのではないか。

視鏡ビデオで撮影して評価しているものがある。その報告では、模擬のOD錠が「梨状窩」(喉の奥にあるくぼみ)に溜まり、残留するケースがあった。

—仮に薬剤が喉に貯留すると、どういった弊害が起きますか。

荒井 誤嚥して気管に入ってしまふ危険性がある。喉にとどまつて子に誤嚥する可能性がある。嚥下能障害がある「誤ってでも飲める」とは言っているが、それはあくまで患者の主観をもとに言っているだけ。嚥下造影とかカメラで具体的に評価しているわけではない。まだ誰も

液に作用が強い薬剤が加われば、さらに問題を生じかねない。もし抗がん剤のOD錠であれば、極めてリスクだらう。これまで具体的なトラブルは経験がないが、今後OD錠が市場で増えていけば、何か問題が起きる前に警鐘を鳴らしておいたほうがいいと思う。

とくに、我われ老年内科では、認知症患者数が300万人近くにまで達すると言われている。認知症患者のなかには、脳梗塞を併発するなど嚥下機能が損なわれているケースもある。これから認知症治療薬でもOD錠は増えるだろう。最近の報告を見ると、OD錠を嚥下障害がある人にどんどん処方して安全なのか、よく考えないとけないのでないだらうか。OD錠は飲みやすく安全だと多くの人は語っているが、あくまで患者の主観をもとに言っているだけ。嚥下造影とかカメラで具体的に評価していないわけではない。まだ誰も

荒井 食事でもジュースでもトロ度に溶かして、トロミ剤を入れて一口ずつ服用しても問題ない。このほうがOD錠よりも安全性は高いと思う。ただ手間はかかるが。 —そもそも多剤処方のなかでOD錠が混じっていても有用ですか。

荒井 多剤のときはOD錠があるうとなかろうと水で流し込む。わざわざすべてOD錠に変えようとは思わない。ただ、ここ(京大病院)の場合、OD錠が発売されて

—院)の場合はOD錠が変えようと思われる。ただ、ここ(京大病院)の場合、OD錠が発売されていれば、OD錠だけ購入するので、無条件にOD錠を使う。どうしても嫌なら処方を書き直すが、わざわざそこまでやる人は少ない。

—嚥下障害の論文に関して、製薬企業の反応は。

荒井 OD錠を(製品の)ライフサイクルマネジメントとして組み込んでいくからか、反応はあまりない。OD錠の大多数は有用だと思ふが、押し並べてというのは、いかがだらうか。今はようやく老

年科や耳鼻科の医師が意識を持ち

た。最近の論文に、嚥下機能を内肺炎を起こすことがある。その壁

服用すれば安全ですか。

—嚥下障害の場合、どのように問題点があると思う。

(坂口)